第４学年　道徳科学習指導案

１　主題名　　やりぬくために＜Ａ－５　希望と勇気、努力と強い意志＞

２　教材名　　「がむしゃらに」（出典　日本文教出版「生きる力」）

３　学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 教師の支援 |
| つ  か  む  ５  深  め  る  ３０  見  つ  め  る  １０ | １　日常の生活を振り返る。  目標を立てても、途中でやめてしまおうと思ったり、やめてしまったりしたことはありませんか。  　　　・道をわたるとき  ・毎日走ろうと思ったけど、面倒くさくなってやめてしまった。  ・ピアノでどうしてもうまく弾けないところがあって、いやになった。  　　・しらない人がちかくにきたとき  ２　教材「がむしゃらに」を読んで考え、話し合う。  　①魁皇関の相撲の取り組みの様子と記録達成のインタビューのことばから、魁皇関はどんな目標を立てたのか、予想する。  ・横綱になる。  ・最強の力士になる。  　②相撲部屋に入った頃、博之は相撲の稽古にどのような気持ちで取り組んでいただろう。  ・横綱になるために、つらくても一生懸命がんばる。  ・絶対に負けない気持ち。  ・頑張って、応援してくれる人の期待に応えたい。  　③博之の目から涙があふれだしたのはなぜだろう。    ・アメリカ人のヘンリーが頑張っているのに、自分は逃げてしまって恥ずかしい。  ・自分も負けたくない。  ・逃げ出さずに頑張ってきてよかった。  ・はじめの目標に近づけた。頑張ればもっといけるかもしれない。  ・自分一人では、やれなかった。みんなのおかげ。  ３　学習の振り返りをする。 | ・目標の大小にかかわらずこれまでの経験と比べられるように、想定できる場面をたくさん発表するよう促す。  ・大相撲についてよく知らない児童にも物語の背景を理解できるように、大関や横綱、相撲について知っていることを伝え合う場面を設定する。  ・目標を達成して成就感を得た博之の気持ちに寄り添うことができるよう、博之の記録達成のインタビューのことばを紹介する。  ・相撲を続けることについて博之にも揺れる思いがあったことに気付かせるため、実はやめたい気持ちがいつもあったことを伝える。  ・自分のこととして考えられるように、途中でやめたくなったり、あきらめてしまったりしたこととその後の気持ちを思い出すよう投げかける。  ヘンリーのことばに博之はどんな気持ちでうなずいたのだろう  ・大相撲で記録を達成した魁皇にも悩んだり逃げ出したくなったりした経験があることや、それを乗り越えてきたからこそ目標を達成することができたことに気づけるよう相撲の道に入ったばかりの時と引退する時の気持ちを比較して、話し合いを深めるようにする。  ・一人一人が、今後の自分のあり方を考えられるよう、これから大切にしたいことをワークシートに書くようにする。 |

７　評価

　　・物事に精一杯打ち込むことのすばらしさと、それができないことの情けなさに気づき、強い意志をもって、やるべきことはやろうという思いをもつことができたか。（ノート・発言）